



三島学園報

NO. 8
2007.7



学校法人 三島学園



池上雄作学長が退任し、浅尾豊信学長が就任

4月1日付けで大学・短大の学長が異動した。池上前学長は平成12年7月1日、佐々木菊見学長の後任として、大学及び短大の学長に就任され、本年3月31日まで2期6ヶ月務められて退任された。この間、平成13年10月に理事長に就任され学長と兼務で、学園の運営に当られた。今後は理事長職に専念されることとなる。

後任には本学園理事の浅尾豊信氏が理事会の審議を経て選任された。

浅尾新学長は、東北大学名誉教授で理学博士(専門は有機化学)、山形市出身75歳。

東北大学教養部長、情報処理センター長、大学教育研究センター長など歴任後退官され、岩手大学教授、弘前大学地域共同研究センター客員教授を経て、平成15年から本学園理事・評議員に就任され非常勤講師も務めてこられた。趣味は俳句。



浅尾豊信 新学長



健康栄養学専攻 第1期生卒業

平成19年3月15日、大学家政学科・健康栄養学専攻44名、短期大学部生活文化学科・子ども生活専攻28名の第一期生が卒業式を迎えた。

健康栄養学専攻の第一期生は、3月末に国家試験を受験し、本学初の管理栄養士が誕生した。本学にとって初めての管理栄養士国家試験であったが、一期生の努力の甲斐があり、全国平均並みの合格率となった。また男女共学の管理栄養士養成校として、東北初の男性の管理栄養士を送り出すことができた。一期生の

多くは、病院や各施設で活躍中である。

子ども生活専攻の第一期生は、4月より保育園等の各施設で、保育士としてのスタートを切った。なお、続く第二期生からは、幼稚園教諭二種免許も取得できることになっている。このため一期生の約4分の1は、科目等履修生となり、さらに勉学に励んでいる。

大学、短期大学部では、管理栄養士・栄養士や保育士をはじめ、社会の要請に即応できる人材の輩出に、今後ともさらに努めていきたいと考えている。



高校に硬式野球部誕生 甲子園大会県予選に初挑戦!

男女共学化から5年目を迎えた高校に生徒待望の硬式野球部が新設された。4月入学の1年生部員で新チームが結成され、練習場所も十分でない環境のもとで第一歩を踏み出し、はたつと練習に励んでいる。

6月には宮城県高校野球連盟への加盟が承認され、早くも夏の甲子園大会県予選に初出場することが決まった。7月10日のフルキャストスタジアムでの開会式では、出場校80校の一員として校旗を掲げ堂々の入場行進。記念すべき初陣は仙台西高となった。

監督には、宮城県の高校野球界で著名な石川茂則氏が就任した。県下の新聞やTVにたびたび報道され、あらためて野球部の影響の

大きさに驚かされている。同監督は68年に仙台育英高校の内野手として春のセンバツ大会に出場し、卒業後同校のコーチとして6回の甲子園出場をはたし経験も豊富。また、仙台西高の初代監督として85年夏の県大会で準優勝の実績を有している。現在、市内の会社に勤務する傍ら監督をお引き受けいただいたものである。

野球部創設は、男子生徒の活動の場を広げ、部活動全般の活性化につながるものと期待される。



Information インフォメーション

●大学・短大

「オープンキャンパス2007」

- 日時／平成19年7月29日(日)、8月10日(金) 9:30～
- 内容／体験学習・キャンパス見学・受験相談コーナー
- お問合せ／東北生活文化大学・短期大学部 入試課 TEL:272-7521

●大学・生活美術学科

「2007夏期 高校生のためのデッサンセミナー」

- 日時／平成19年7月30日(月)～8月6日(月)
- 内容／基礎デッサンの実技講習
- お問合せ／東北生活文化大学・生活美術学科 TEL:272-7519

●高校

「第1回学校説明会」

- 日時／平成19年7月14日(土) 9:30～13:00
- 会場／東北生活文化大学高等学校

●高校

「第8回中学生美術コンクール」作品募集

- 課題テーマ／「顔」～カオ～ ○作品サイズ／B3サイズ
- 表現技法／平面(技法・画材は自由)
- 受付期間／平成19年8月27日(月)～9月4日(火)
- お問合せ／中学生美術コンクール事務局 TEL:272-7522

●高校

「2007中学生イラスト・マンガコンクール」作品募集

- 応募内容／イラスト部門・4コママンガ部門
- 作品サイズ／B4サイズ ○応募締切／平成19年7月31日(火)
- お問合せ／中学生イラスト・マンガコンクール事務局 TEL:272-7522

大学・家政学科

- 課題研究発表会／平成19年2月1日(本学百周年記念棟)
- 課題研究展／平成19年3月15日(本学5号館)

課題研究の口頭発表と展示が行われ、18年度4年生による32題目の研究成果が公開された。課題研究は、3年間に学んだ内容から題目を決め、約1年間かけて研究する。分野は、生活情報学、教育学、教育心理学、言語と生活、衣生活研究、染色学、被服科学、食物学、健康医学、栄養教育学、栄養学、応用生物化学、公衆栄養学、臨床栄養学、臨床栄養学・給食管理学、保健学であった。発表会では、真剣に発表する学生の姿が見られ、質疑応答も熱心に行われた。卒業式当日の課題研究展では、作品やポスター展示により、ご家族や学内の方々など皆様に研究成果を御覧いただいた。



大学・生活美術学科

- 卒業制作展／平成19年2月9日～14日(せんだいメディアテーク)

4年間の集大成とも言える卒業制作展が今年2月、せんだいメディアテークで開催され2000人近くの方に御覧いただいた。分野は、洋画・日本画・版画・彫刻・デザイン・写真・イラストレーション・映像・木工・漆芸・陶芸・オブジェ・モザイク・ホットガラスと多岐に渡り、約60点の展示となった。

作品はそれぞれの素材や技術の可能性を最大限に活かし、学生らしい斬新で自由な表現が多かった。

今回、また作品の表現意図や制作過程を直接伝える事により、鑑賞者に親近感を持っていただきたいと思い、昨年に続き教員と学生によるギャラリートークを会期中の土・日に実施した。



短大・生活文化学科

- 課題研究展示発表会／平成19年2月23日～25日(仙台市旭ヶ丘市民センター)
- ※口頭発表会は初日のみ

会場では、生活学専攻による、洋裁、染色、シュガークラフト、マルチメディア情報学、情報造形、各グループによる展示作品や、健康社会学や発達心理学の研究ポスター発表、子ども生活専攻の授業で制作されたエプロンシアターなど多彩な展示がなされた。口頭発表も盛況に行われた。今後の学生の活躍を期待したい。



高校・美術コース

- 卒業制作展／平成18年12月20日～24日(宮城県美術館県民ギャラリー)

出品者は美術コース4期生43名、美術・工芸分野約250作品が展示され、400名を越える来場者を集めた。

展覧会テーマを「ムリ」としているが、ムリといいつつもそれぞれの目標に向かい、制作をしてきた先には「ムリ」を克服して深みのある洗練された作品ができるのだという意味が込められている。ダンスパフォーマンスやライブペインティングなどもあり、例年とは一味違った取り組みも見られ、更なる飛躍が期待される卒業制作展となった。



学生・生徒の活躍

大学

- 生活美術学科
 - 第71回河北美術展【洋画部門の部／入選】後藤和紀(生活美術学科1年)
 - トーキョーワンダーウォール2007
 - 【入選】後藤俊幸(生活美術学科4年)
 - 講談社フェーマススクールズ主催 第2回天使のイラストコンテスト
 - 【佳作】木村綾(生活美術学科4年)

● 少林寺拳法部

- 第44回仙台市民総合体育大会 少林寺拳法演武大会
 - 【大学女子二段以上の部／最優秀賞】星悠子(生活美術学科4年)
 - 【大学女子二段以上の部／優秀賞】阿部あゆみ(生活美術学科4年)
 - 【大学男子初段の部／最優秀賞】工藤貴典(家政学科2年)
- 第40回少林寺拳法東北学生大会
 - 【大学女子二段以上の部／最優秀賞】星悠子(生活美術学科4年)

高校

- 少林寺拳法部
 - 第10回全国高等学校選抜少林寺拳法大会 出場
 - 【女子自由組演武の部】西森愛美 今野沙紀
 - 第44回仙台市民総合体育大会 少林寺拳法演武大会
 - 【一般団体の部／第1位／優秀賞】
 - 【中学・高校女子の部／第2位／優秀賞】西森愛美 今野沙紀
 - 【高校男子級の部／第2位／優秀賞】伊藤駿 静谷存吾
 - 第56回宮城県高等学校総合体育大会 少林寺拳法競技
 - 【女子自由組演武初段の部／第1位】西森愛美 今野沙紀
 - 【女子単独演武の部／第1位】西森愛美 【第3位】今野沙紀

【男子総合／第2位】

- 【男子団体演武の部／第3位】
- 【男子規定組演武級の部／第1位】飯野勇 長谷川あみ
- 第60回宮城県民体育大会 少林寺拳法大会
- 【中学・高校女子級の部／優秀賞第2位】西森愛美 今野沙紀
- 【高校男子級の部／優良第3位】飯野勇 長谷川あみ

● 女子ソフトボール部

- 第42回宮城県高等学校選抜ソフトボール大会【第1位】
- 第26回宮城県私立高等学校女子ソフトボール選手権大会【第1位】

- 第52回全国私立高等学校女子ソフトボール選抜大会【出場】
- 第56回宮城県高等学校総合体育大会【第3位】

● 男子ソフトボール部

- 第56回宮城県高等学校総合体育大会【第3位】

● 男子バスケットボール部

- 仙台市高等学校バスケットボール選手権大会【第3位】
- 宮城県私立高等学校バスケットボール選手権大会【第3位】
- 第33回東北現代工芸美術展
- 【奨励賞】西山まどか 五十嵐望美

みどりの季節

【理事長】池上雄作

6月のある日幼稚園の園児が理事長室に「いつも有難う」とやってきた。そして「理事長先生は何色が好きですか?」と尋ねたので「緑です」と答えた。とっさに出た答えだったが、やはり緑がよい。数年前に田舎の台地に上って周囲を見渡したとき、山一面の輝く緑に感激したのを思い出した。毎日接している色であるが、しばらくぶりそんな台地に立ったときのことが忘れられない。自然とそこに親しむことの有難さを、とくに都会に住む人々は実感して欲しいものだと思う。

学園も緑に満ちているが、理事長室にいと、もう7年近くになるのかと月日の経つのが速いことが気にかかる。四季をめぐるいろいろな変化があった。6・4委員会を出発点として男女共学化もあったし、資格取得の課程増設もあったし、保育園や子ども家庭支援センターの誕生したし……。そして思ったよりもここまでは順調に進んできた。もともと教育機関は組織面はいじらなくてもじっくり効率的な教育に専念し、時間のかかる教育が何らかの形に突っつて、その慶びをみんなで分かち合うところでありたいのだが、近年の教育界をめぐる環境がそうはさせてくれない。文部科学省を取り巻く会議からの提言は後を絶たず、最近決まった政府の骨太の方針「基本方針2007」の中には、大学・大学院改革として、全国

立大学での9月入学枠の設定、国私を通じて地方の「大学地域コンソーシアム」の形成支援、など多くの項目が含まれている。近いうちに我々の周辺の課題となるだろう。こんなことで毎年いろいろな新しい施策を求めて努力せざるを得なくなってきたのだ。幸い三島学園は少しずつよい方向に向かい、「緑に鮮やかさも見えてきた」と言ったらどうだろうか。

春には、13人の管理栄養士と25人の保育士が初めて誕生して社会人として活躍し始めた。大学・短大の学長が変わり、気鋭の浅尾学長が就任して更なる進歩が期待されている。高校は生徒1000体制が実現し、一方野球部の創設や電子紙芝居が話題を呼んでいる。幼稚園児の24人増は画期的なものだった。

百数年の歴史的資産と同窓生を中心とする学園への支援が、本学園の地盤となっていることに常に感謝しているが、これをいかにして持続していくかが、これからの中長期的課題となる。財政面の不安定さが気になるので教育研究資金の募金を始めることにし、お願ひ文を差上げたところ、たくさんの方々から激励のご賛金をいただいている。これから新しい計画に向かうことにあるが、そここのところを若い人たちが精力的に考え、議論して進めてもらいたいと思っている。

人事異動について

■退職者(3月31日付け)

○教員

- 大 学 【学長】池上雄作 【教授】伊藤洋子(美)
- 【講師】工藤陽子 【講師】千葉景一(学生課長)
- 短 大 【教授】須藤佑子 【教授】芳賀清一
- 高 校 【教諭】菅谷昌令 【教諭】戸田道寿
- 【常勤講師】熊谷聖司
- 幼稚園 【嘱託教諭】佐藤英恵

○職員

- 大 学 【入試課長】山田恒夫
- 保育園 【嘱託保育士】小関理絵・板垣奈古・小関映子

■新規採用(4月1日付け)

○教員

- 大 学 【学長】浅尾豊信(短大学長兼務)
- 大 学 【特任講師】南文子 【助手】柴田裕司(H19.7.17付)
- 短 大 【特任教授】須藤佑子 【特任准教授】朝倉清

- 高 校 【常勤講師】鍋島能敬・庄司達也・堀田絵里・千葉晴海
- 幼稚園 【嘱託教諭】佐藤いずみ 【契約教諭】佐藤則子

○職員

- 大 学 【入試課長】横山實 【学生課長】久保田齊
- 短 大 【学生課】菊地良文(H19.4.16付)
- 保育園 【嘱託保育士】大江敦子・齊藤舞

■昇格等任用替

- 大 学 【教授】大短図書館副館長／近江恵美子(助教)
- 短 大 【教授】短大生活文化学科長／宮坂きよの(助教)
- 幼稚園 【嘱託教諭】大友理恵(臨時教員)・櫻井久美(臨時教員)
- 保育園 【保育士】佐々木夏美(嘱託保育士)

■助教職名変更による

- 大 学 【准教授】石井美奈子・佐藤靖子・鈴木裕行・三上秀夫
- 短 大 【准教授】土屋葉子・三浦主博 【特任准教授】佐藤美貴子

(非常勤講師、臨時職員等は省略)

学園歴史探訪

平民宰相原敬の激励

顕彰館に原敬の揮毫になる一幅の軸が残されている。扇面に「欲與天下共坐春風 原敬、曰く「天下與共に春風に坐せんと欲す」と、まさに平民宰相に相応しい言葉である。三島駒治に激励の意をこめて送られたものであろう。原は安政3年(1856)盛岡藩の藩士の家に生まれ、後分家して平民となった。上京して法学校に学び新聞社に勤務しながら地方制度の改革、地方振興を掲げて政界進出を目指した。15歳年下の駒治も東京で法律を勉強、故郷の振興を思い岩手益友会、東北青年会を組織し、東北初の法律学校開設を模索していた。同郷しかも同じ法律を学び東北の振興を思う同士として先輩原は駒治の学校創設を激励し、ここに明治33年(1900)東北法律学校は産声をあげた。原は翌34年来仙視察、その後も明治40年、大正2年内務大臣の要職を押しに来校、暖かく職員を励まし学園の発展に変わらぬ声援を送り続けた。



三島学園教育研究資金の募金開始

本学園では、教育研究環境のさらなる整備を進めるため、「三島学園教育研究資金」の寄付金募集を開始した。

この寄付金は、学園が教育機関としての健全性を保ちつつ社会的使命を果たしていくために、広く一般の方々から寄附を仰ぎ、研究費や施設設備の面の改善を図ろうとするものである。

いただいた寄付金は、手狭になってきた教室や研究室の拡充整備、研究機器の整備、体育用施設の拡充、学生・生徒生活支援施設の整備等、学園が抱えている多岐にわたる課題に対処するために、資金として有効活用を予定しており、個人、団体、法人を問わずどなたからでもお受けし、期間を限定せず定期的に継続し、毎年少しずつでもご協力願いたいと期待している。

ご協力いただける場合は、募金趣意書、募金要項、払込用紙等を用意しているので、学園会計課までご連絡いただきたい。

< 学校法人三島学園 事務局 会計課 >

TEL:022-272-7511 FAX:022-272-7516

平成19年度年間主要行事予定表 (平成19年4月～平成20年3月)

月	大学・短大	高校	幼稚園	保育園
4	4. 入学式 5～6. ガイダンス 6～7. 新入生 オリエンテーションキャンブ 短大2年研修旅行 9. 前期授業開始	7. 入学式・始業式・新任式 9. 第1回学力テスト 12～13. 新入生オリエンテーション (松島) 27. 遠足	10. 始園式 11. 入園式 19. 対面式 28. 保育参観・父母の会総会	7. 入園式・はじまりの会
5	18～19. 大美1年研修旅行	1～2. 球技大会 12. 模擬試験 18. 生徒総会 19. PTA総会・保護者懇談会	10. 歯科検診 25. 親子遠足 29. 内科検診	18. 親子遠足
6	2. 後援会総会 9. 体育祭	2～4. 高校総体 11～15. 中間考査 21. 芸術鑑賞会	23. 保育参観日	7. 身体測定 8. 内科検診 10. 歯科検診 13,20. 保育参観・懇談会
7	21. 前期授業終了 29. オープンキャンパス	7～8. 生文祭 12. 海外研修出発 14. 第1回学校説明会	14. 夏まつりバザー 19. 終園式 17～18. お泊り保育 20～8/26. 夏休み	6. 七夕まつり 21. 夏まつり
8	7/30～8/6. 大美・高校生のための デッサンセミナー 1～9/18. 夏季休業 10. オープンキャンパス 21～25. 大美2年美術鑑賞旅行	18～20. 三者面談 21～9/2. 夏季休業	27. 始園式	29. 運動会
9	4～6. 博物館実習旅行 4～7. 大美2年研修旅行 19. 後期授業開始	4. 第2回学力テスト 9. 第2回学校説明会① 15. 第2回学校説明会② 19～26. 期末考査 26. 前期終業式	13. 運動会 17. いも掘遠足・焼きいも会	30. いも煮会
10	19～21. 大学祭	1. 後期始業式 5. 体育祭 22. 私学振興大会 24. 生徒総会	9. 避難訓練 15. 七五三お参り	21. クリスマス発表会 18. もちつき会
11	17. 推薦入試	10. 第3回学校説明会 13～16. 中間考査(2年) 20～23. 修学旅行(2年) 20～26. 中間考査(1・3年)	15. クリスマス発表会 19. 終園式	1. 豆まき会 7,13,23. 保育参観・懇談会
12	25～1/10. 冬季休業	8. 第5回読書クイズ王決定戦 21～1/9. 冬季休業	11. 始園式	3. ひなまつり会 22. 卒園式 26. 大きくなったお祝いの会
1		推薦入試 25～31. 学年末考査(3年)	1. 豆まき会	
2	3～4. 一般入試(A日程) 8～9. 大家課題研究発表会 8～13. 大美卒業制作展 22～24. 短大課題研究展示発表会	一般入試 27. 平和を想う日～柿Peace～ 29. 賞状授与式・同窓会入会式	3. ひなまつり会 15. 卒園式 19. 修園式	
3	4. 一般入試(B日程) 10～. 春季休業 15. 学位記授与式・ 卒業証書授与式 大家課題研究展	3. 卒業式 4～10. 学年末考査 21. 終業式		

※学園創立記念日……10月27日

学生・生徒・園児 在籍数 (平成19年5月1日現在)

【単位:人】

区分	1年	2年	3年	4年	合計	
大学	家政学科	66(12)	70(11)	70(12)	73(14)	279(49)
	生活美術学科	58(6)	63(12)	39(13)	45(8)	205(38)
	小計	124(26)	133(25)	109(21)	118(34)	484(87)
短大	生活学専攻	32(3)	24(4)			56(7)
	子ども生活専攻	56(5)	51(11)			107(16)
	小計	88(8)	75(15)			163(23)
高校	普通科	314(103)	296(90)	236(69)		846(262)
	商業科	54(38)	56(39)	41(29)		151(106)
	小計	368(141)	352(129)	277(98)		997(368)
幼稚園	年少					
	年中	26(13)	32(14)	25(12)		83(39)
	年長					
保育園	0歳児		1・2歳児	3歳児	4・5歳児	
	2(0)	22(13)	14(6)	24(15)		62(32)
	合計					1,789(549)

() 男子の人数

役員並びに評議員数調 (平成19年5月1日現在)

【単位:人】

区分	理事	監事	評議員(理事兼務者)
男	8	2	12(8)
女	1	0	9(1)
計	9	2	21(9)

教職員数調 (平成19年5月1日現在)

【単位:人】

学校別	職名	学長 校長 園長	学長 教諭 保育士	教授 助諭 教諭	助教 養護教諭 教諭	講師	助手	事務職員	現業職員	小計	副手 事務補助員	契約教員 非常勤保育士	臨時職員	嘱託栄養士	常勤講師 嘱託保育士 等	非常勤講師	小計	合計
大学		1	13	4	11	4	11			44	6						41	85
短大		(1)	5	4	6			5	1	21	4		1				14	40
高校		1	39	1				7	2	50	3		3		14		60	110
幼稚園		1	5						1	7		1					1	8
保育園		1	6							7		3	1	1	6		11	18
合計		4	68	9	17	4	23	4	4	129	13	4	6	1	20	88	132	261

平成18年度学校法人計算書類

平成18年度資金収支及び消費収支の概要は表1・2・3・4のとおりである。表中の予算は、平成19年3月に見直し作成した補正予算の金額である。(千円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合がある。)

●表1.平成18年度資金収支計算書 [単位:千円]

収入の部	予算	決算	差異	支出の部	予算	決算	差異
学納金収入	1,109,496	1,110,068	△572	人件費支出	1,162,871	1,163,590	△720
手数料収入	27,653	28,476	△823	教育研究経費支出	251,079	249,455	1,624
寄付金収入	2,090	3,050	△960	管理経費支出	137,036	137,469	△433
補助金収入	468,768	470,965	△2,197	借入金利息支出	13,798	13,744	54
資産運用収入	2,170	2,867	△697	借入金返済支出	269,610	269,610	0
事業収入	74,269	76,082	△1,813	施設関係支出	25,319	25,566	△247
雑収入	101,565	102,250	△686	設備関係支出	19,650	19,139	510
借入金等収入	50,000	50,000	0	その他の支出	84,658	86,505	△1,847
前受金収入	213,807	223,339	△9,532	予備費	61	0	61
その他の収入	70,424	75,879	△5,455	資金支出調整勘定	△95,071	△98,331	3,260
資金収入調整勘定	△302,213	△304,721	2,508				
前年度繰越金	372,541	372,541	0	次年度繰越金	321,560	344,050	△22,490
資金収入合計	2,190,570	2,210,798	△20,228	支出合計	2,190,570	2,210,798	△20,228

差異=予算-決算

●表2.平成18年度消費収支計算書 [単位:千円]

収入の部	予算	決算	差異	支出の部	予算	決算	差異
学納金	1,109,497	1,110,068	△572	人件費	1,129,334	1,131,836	△2,502
手数料	27,653	28,476	△823	教育研究経費	382,971	377,627	5,344
寄付金	2,090	4,451	△2,361	管理経費	156,895	156,570	325
補助金	468,768	470,965	△2,197	借入金等利息	13,798	13,744	54
資産運用収入	2,170	2,867	△697	資産処分差額	0	1,039	△1,039
事業収入	74,269	76,082	△1,813	徴収不能引当金繰入額	2,000	1,196	804
雑収入	101,565	102,697	△1,132	徴収不能額	4,000	0	4,000
帰属収入合計	1,786,011	1,795,607	△9,596	予備費	270	0	270
基本金組入	△25,750	△25,842	92				
消費収入合計	1,760,261	1,769,765	△9,504	消費支出合計	1,689,268	1,682,013	7,255
				消費収入超過額	70,993	87,752	△16,759

差異=予算-決算

また、貸借対照表について、前年度からの資産と負債の増減は表3のとおりである。(百万円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致していない場合がある。)

●表3.貸借対照表(平成19年3月31日) [単位:百万円]

科目	18年度末	17年度末	増減	
資産の部	固定資産	3,441	3,543	△102
	流動資産	426	392	34
資産の部合計		3,866	3,934	△68
負債の部	固定負債	637	737	△100
	流動負債	398	480	△82
負債の部合計(1)		1,035	1,216	△182
基本金の部	基本金の部合計(2)	5,390	5,365	26
消費収支差額の部	消費収支差額合計(3)	△2,559	△2,646	88
(1)+(2)+(3)		3,866	3,934	△68

また、財産目録は表4のとおりである。(百万円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致していない場合がある。)

●表4 [単位:百万円]

区分	金額	
資産額	1 基本財産	3,440
	2 運用財産	426
合計(資産総額)		3,866
負債額	1 固定負債	637
	2 流動負債	398
合計(負債総額)		1,035
正味財産(資産総額-負債総額)		2,832

平成19年度収支予算書

平成19年度資金収支予算及び消費収支予算の概要は表5・6のとおりである。表中の予算は、平成19年3月に見直し作成した18年度補正予算の金額である。(千円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合がある。)

●表5.平成19年度資金収支予算書(平成19年4月1日から同20年3月31日まで) [単位:千円]

収入の部	当年予算	前年予算	差異	支出の部	当年予算	前年予算	差異
学納金収入	1,123,223	1,109,496	13,727	人件費支出	1,141,830	1,162,871	△21,041
手数料収入	26,945	27,653	△708	教育研究経費支出	249,410	247,933	1,477
寄付金収入	20,000	2,090	17,910	管理経費支出	143,630	135,243	8,387
補助金収入	513,700	468,768	44,932	借入金等利息支出	13,700	13,798	△98
資産運用収入	2,060	2,170	△110	借入金返済支出	118,760	269,610	△150,850
事業収入	72,500	74,269	△1,769	施設関係支出	211,000	25,319	185,681
雑収入	46,820	101,565	△54,745	設備関係支出	25,000	19,650	5,350
借入金	160,000	50,000	110,000	その他の支出	133,280	84,658	48,622
前受金収入	206,760	213,807	△7,047	予備費	5,000	5,000	0
その他の収入	133,115	70,424	62,691	資金支出調整勘定	△42,230	△95,071	52,841
資金収入調整勘定	△242,807	△302,213	59,406				
前年度繰越金	321,560	372,541	△50,980	次年度繰越金	384,496	321,560	62,936
資金収入合計	2,383,876	2,190,570	193,306	支出合計	2,383,876	2,190,570	193,306

差異=当年予算-前年予算

●表6.平成19年度消費収支予算書(平成19年4月1日から同20年3月31日まで) [単位:千円]

収入の部	当年予算	前年予算	差異	支出の部	当年予算	前年予算	差異
学納金	1,123,223	1,109,497	13,726	人件費	1,141,830	1,129,334	12,496
手数料	26,945	27,653	△708	教育研究経費	381,710	380,163	1,547
寄付金	20,000	2,090	17,910	管理経費	163,290	154,972	8,317
補助金	513,700	468,768	44,932	借入金等利息	13,700	13,798	△98
資産運用収入	2,060	2,170	△110	徴収不能引当金繰入額	4,000	2,000	2,000
事業収入	72,500	74,269	△1,769	徴収不能額	0	4,000	△4,000
雑収入	46,820	101,565	△54,745	予備費	5,000	5,000	0
帰属収入合計	1,805,248	1,786,011	19,237				
基本金組入	△172,690	△25,750	△146,940				
消費収入合計	1,632,558	1,760,261	△127,703	消費支出合計	1,709,530	1,689,268	20,262
				消費収入超過額	△76,972	70,994	

差異=当年予算-前年予算

和洋女子大学同窓会ご一行様来校

去る6月10日(日)、和洋女子大学同窓会むら竹会宮城県支部総会が仙台で開催されたことを機に、同大学蓮見学長様、むら竹会理事長高梨様他7名の方が当学園に来校された。当学園創設者の三島よし先生が同大学の前身和洋裁縫女学院の卒業生(明治31(1898)年)であるご縁で、

当学園への訪問を希望され、お迎えすることとなった。顕彰館では仏壇にお参りの後、展示室、短大資料室をご覧いただき、同窓会館での懇親の席では様々な懐かしいお話を交換することができた。人と人との繋がりとご縁を大切に、和洋学園と三島学園の絆が一層深まるよう望まれる。



近況報告

東北生活文化大学

家政学科

平成19年4月、家政学科に服飾文化専攻に改称され、新たな体制で新年度が始まった。また、4月より南文子先生を講師にお迎えした。平成19年3月には、健康栄養学専攻が完成年度を迎えた。第一期生には栄養士・管理栄養士として今後の活躍を期待したい。さらに例年通り、18年度卒業生による課題研究発表会(2月)、課題研究展(3月)が行われ、卒業研究の成果が公開された。社会で活躍する家政学科の卒業生の経験談を聴く機会として、在学生を対象に、平成18年12月「家政学科特別セミナー」が実施された。社会の要請に即応できる人材の育成を目指し、19年度も家政学科は充実した教育環境をつくっていく所存である。

生活美術学科

2月9日～14日に第39回卒業制作展がせんだいメディアテークで盛況に行われた。そして3月15日には、卒業式が挙行され生活美術学科43名の卒業生が世に送り出された。また、長年、学科でお世話になった伊藤洋子先生が定年を迎えられ、ご退職なされた。尚、先生には4月から非常勤講師として引き続き染色のご指導をお願いしている。非常勤講師の先生としては、早坂不二子先生もお辞めになり、新しく井上直美先生に漆芸関係を持っていただく事となった。同じく桜井忠彦先生には洋画とデザインの授業を持っていただいている。4月4日には入学式が挙行され、59名の学生を迎えた。この間多くの学生がゼミ店、個展、グループ店、公募展等で発表、入選入賞の報を聞いている。

東北生活文化大学短期大学部

短期大学部は「生活学専攻」「子ども生活専攻」の2専攻制で初めての卒業生を3月に無事送り出した。生活学専攻29名(19名が全国実務教育協会情報処理士、4名がビジネス実務士の資格取得)、子ども生活専攻28名(26名が保育士資格を取得)の計57名の学生が社会に巣立ったが、いずれの卒業生にもこれらの資格を生かしての活躍を期待したい。そして、4月には生活学専攻32名、子ども生活専攻56名の新入生を迎え、浅尾豊信新学長、宮坂きよの新学長のもと新年度がスタートした。また、スタッフの異動として、芳賀清一教授が3月に退職され、朝倉清准教授を新しくお迎えした。

東北生活文化大学高等学校

平成15年度から男女共学を実施し、新しい伝統と校風づくりに向けて、「東北生活文化大学高等学校」と改称。早いもので5年目を迎えました。

3月3日の卒業式には、共学二期生249名(内、男子83名)全員が進路決定の上、学び舎を後に社会へ巣立って行った。

平成19年度は366名の新入生を迎え、在籍者数は997名(男子368名、女子629名)となり、10年前の生徒総数に回復した。

平成18年度の生徒達の活躍は目を見張るばかりだった。特に、

各種美術展等で入賞した美術コース生徒の作品は、河北新報夕刊に18回(24点)に及び掲載された。またダンス部のミスダンスドリルチーム全日本大会への出場。全在校生による通学で利用している市営地下鉄駅や学校周辺での清掃活動。モンゴル国との国際交流。読書クイズ王決定戦。硬式野球部創部等、河北新報社をはじめとしてたくさんの新聞に延べ56回掲載された。

さらには、宮城の伝説を電子紙芝居にする活動。柿の木に誓う平和。女子ソフトボール部の活躍などがテレビ、ラジオ等で放送された。その中でも、病院や介護施設に絵画を飾って、患者や入所者の気持ちを和ませ、自己治癒力を高めたりする「ヒーリングアート研究会」の活動が、NHK総合テレビで取り上げられ、全国放送された。それが、教育ジャーナリストの大木薫氏の目に留まり、「月刊 高校教育(学事出版)」8月号に本校の歴史と教育活動として学校紹介コーナーに掲載されることになった。

このように学校改革6年目を迎え、学校や生徒達の活躍が各方面で注目を浴びている。

ますみ幼稚園

ますみ幼稚園では、84名の子供達が入園、進級して、新しい一年をスタートした。園庭では、砂場遊びや自転車乗りなど元気いっぱい戸外あそびを楽しんでいる。

今年度は、昨年より導入した体育専門の講師による体操教室やサッカー教室、セントメリースキー場へのぞりすべり体験などの運動あそびを通し「最後まで頑張ることの大切さ」「友達と力を合わせることの素晴らしさ」を伝え、『心と体』の成長への導きができるように保育を進めていきたいと思っている。

また、未就園児教室「ますみキッズクラブ」の活動も精力的に行っていきたい。今年度は、親子53組の会員の方の参加があり、5月の入会式から2月の修了式まで年間10回の保育活動を予定している。これからも地域との関わりを大切に、地域の方々に愛される「ますみ幼稚園」作りを目指し頑張っていきたいと思っている。



ますみ保育園

新年度がスタートして3ヵ月。保育園では園児の数も70名を超え、にぎやかな毎日を過ごしている。

今年も保育の中で「歩く」ことを多く取り入れ近隣の散歩コースを楽しんでいる。5歳児は、夏に泉ヶ岳の水神コースのハイキング、秋には太白山登山を計画している。また食育活動のひとつとして大事にしている畑では、早々と「きゅうり」と「さやえんどう」の収穫があった。自分達で育てた野菜は格別なようで、とてもいい表情をして喜んで食べている。日々の保育を大切にしながら、保護者や地域の子育てのサポートに力を入れていきたい。



理事会の 主なる 議 題

■平成19年1月20日(対橋楼 春風亭)

- 理事長・学長の人事について
- 学内規則の制定について
- 再雇用について
(規程整備:定年退職者再雇用規程、過半数代表)
- 高等学校学則変更について

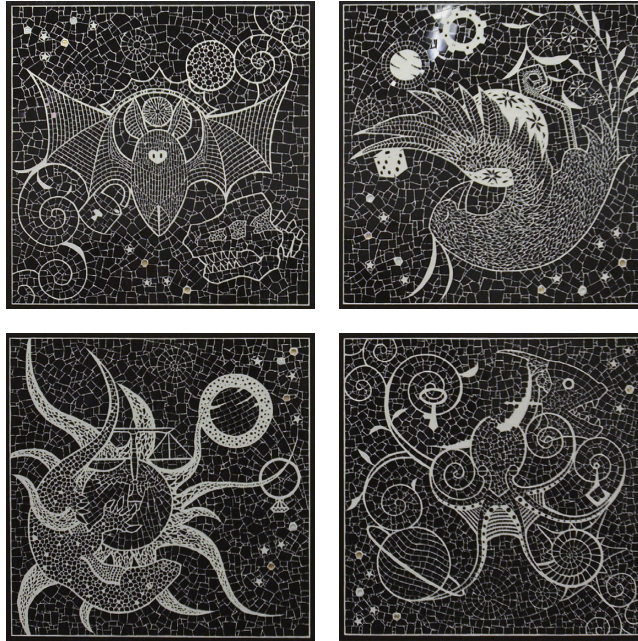
■平成19年3月17日(記念棟2階会議室)

- 平成18年度補正予算について
- 平成19年度収支予算について
- 役員評議員の改選について
- 理事長の選任について

■平成19年5月26日(記念棟2階会議室)

- 平成18年度学校法人計算書類について
- 平成18年度監査報告について
- 高校耐震工事・大規模改修工事業計画について

誌上
ギャラリー



「ガラクタの宝箱」

大学生生活美術学科 平成18年度卒業 菊池香里

(90×90cm 4点1組 モザイク)

約5ヶ月かけて制作しました。黒いタイル一色で表現したかったので、デザイン上で苦労しましたが、タイルの目地表現で形を表現する事と、タイルの割り方で味を出すように工夫しました。

学校法人 三島学園 学園報 第8号 平成19年7月発行 三島学園広報委員会編集

学校法人 三島学園 〒981-8585 仙台市泉区虹の丘1-18 TEL.022-272-7511(代) FAX.022-272-7516
[URL] <http://www.mishima.ac.jp> [E-mail] hojin@mishima.ac.jp



環境に優しい大豆インキを使用しています

印刷/笹氣出版印刷株式会社